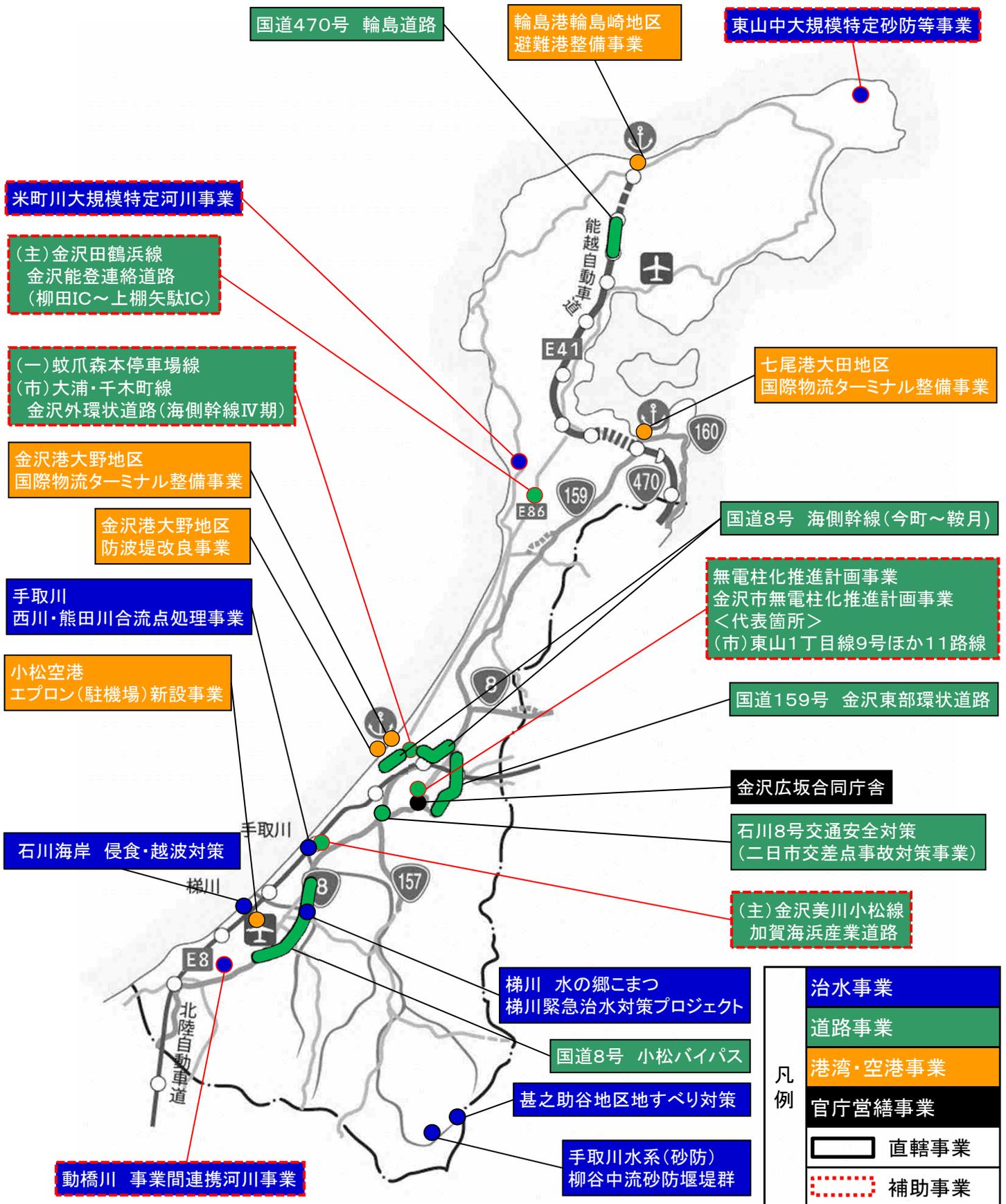


石川県内の主要事業



てどりがわ にしがわ くまたがわ
手取川 西川・熊田川合流点処理事業 の着手
いしかわ はくさん
石川県白山市

R2事業費
742百万円※

※:手取川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

手取川下流部は洪水処理能力が不足しており、平成18年には支川西川・熊田川において浸水被害が生じています。

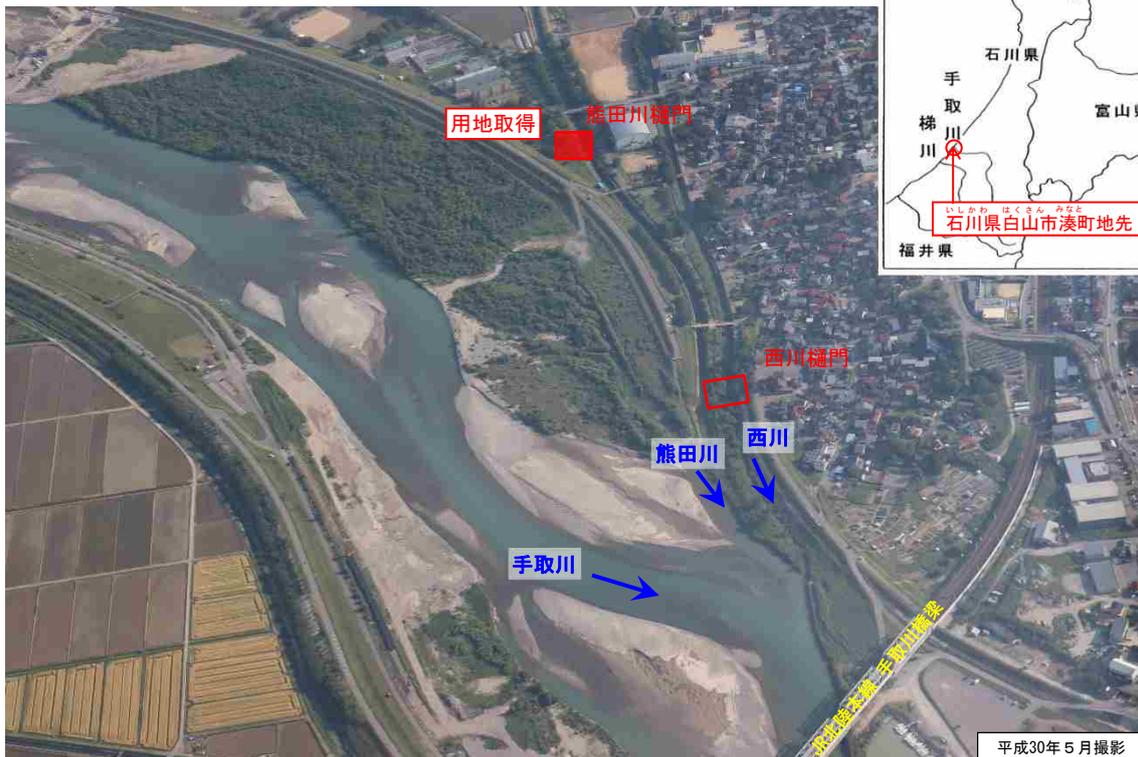
このため、国、県が連携し、西川・熊田川合流点処理として樋門の設置や支川西川の改修を実施することで手取川からの逆流等による浸水被害の防止を図ります。

整備効果

合流点処理等に着手することで、手取川本川および支川西川・熊田川の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

西川・熊田川の合流点処理に伴う用地取得に着手します。



国道8号 ^{うみがわ いままち くらつき} 海側幹線（今町～鞍月） ^{いしかわ かなざわ} の新規事業化 石川県金沢市

R2事業費
50百万円

事業の概要

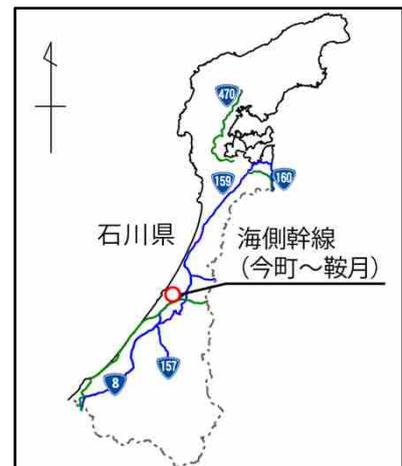
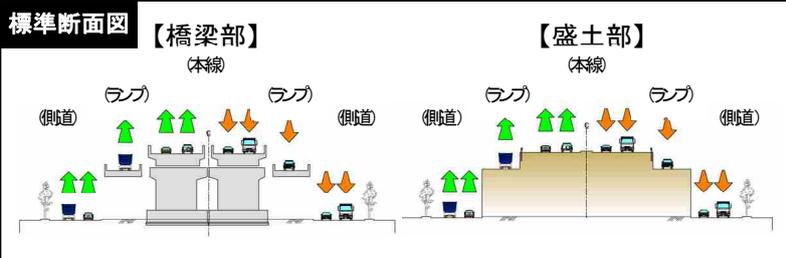
^{うみがわ いままち くらつき} 海側幹線（今町～鞍月）は、^{うみがわ いままち くらつき} 海側幹線（今町～鞍月）の本線整備により、円滑な交通ネットワークの形成や安全性の向上などを目的とした、^{かなざわ いままち せぎまち かなざわ} 金沢市今町～同市千木町（約3.2 km）、^{おこばたにし くらつき} 金沢市大河端西～同市鞍月（約2.4 km）に至る延長約5.6 kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・ 金沢都市圏における円滑な交通ネットワークの形成
- ・ 渋滞緩和に伴う交通事故の減少・安全性の向上
- ・ 物流効率化による地域経済活動の支援

令和2年度の事業内容

令和2年度より、新規事業に着手し、測量、道路設計を推進します。



▲国道8号福久地区の渋滞状況

【海側幹線（今町～福久）区間】



【海側幹線（大河端～鞍月）区間】



いしかわ
石川 8号交通安全対策事業
ふつかいち
(二日市交差点事故対策事業) の新規事業化
いしかわ ののいち
石川県野々市市

R2事業費
3百万円

事業の概要

当該箇所は、JR野々市駅へのアクセス道路との交差点であり、また沿道には多くの商業施設や住宅があり、交通量の多い地区です。右折時には対向右折車により生じる死角で対向直進車の視認性が不足し、無理に交差点侵入することで車両相互による事故が多発しています。また、上下線とも交差点に向かう下り勾配のため、速度超過による減速・停止時の追突事故が多発しています。

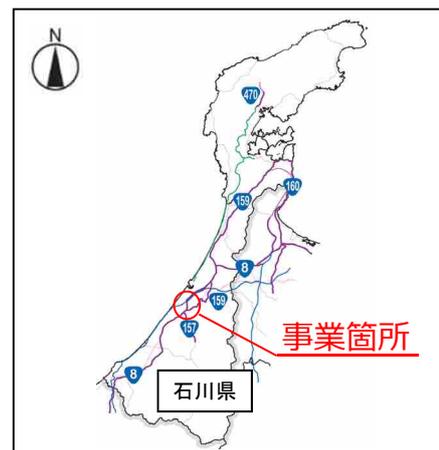
本事業は、交差点改良による右折時の視認性を改善する対策や、路面標示による速度抑制・注意喚起対策を行うことで、安全性を確保する事業です。

整備効果

交差点改良及び速度抑制・注意喚起対策による事故の防止

令和2年度の事業内容

令和2年度に新規事業化し、調査設計を実施します。



かなざわ ひろさか
金沢広坂合同庁舎 空調設備改修
いしかわ かなざわ
石川県金沢市

R2事業費
155百万円

事業の概要

既存官庁施設において、最低限必要な施設の性能を確保するため、経年劣化が著しい空調設備について、緊急的な改修を実施します。

整備効果

行政サービスの円滑な提供に最低限必要な水準を確保します。

令和2年度の事業内容

かなざわひろさか
令和2年度は、金沢広坂合同庁舎の空調設備改修を実施します。

金沢広坂合同庁舎の概要

入居官署：金沢国税局
北陸総合通信局
北陸農政局

所在地：石川県金沢市広坂2-2-60

築年度：1965年

構造：鉄筋コンクリート造

階数：地上8階地下1階建

延床面積：17,083㎡



【位置図】



【金沢広坂合同庁舎外観写真】

こんましがわ
米町川 大規模特定河川事業の推進
いしかわ はくい しまち
石川県羽咋郡志賀町

R2事業費
100百万円

事業の概要

こんましがわ はくい しまち
米町川は、羽咋郡志賀町の人家連担部を貫流する二級河川であり、平成30年8月の豪雨では、川幅が狭い未改修の区間から越水し、甚大な被害が発生しています。

このため、氾濫発生危険性の高い区間等において、洪水対策として、集中的に河道掘削等を実施します。

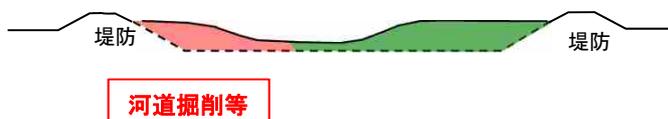
整備効果

こんましがわ
河道掘削等を推進することで、米町川流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

はくい しまち しみず いまえ
羽咋郡志賀町清水今江地内等において、河道掘削、橋梁架替を推進します。

標準断面図



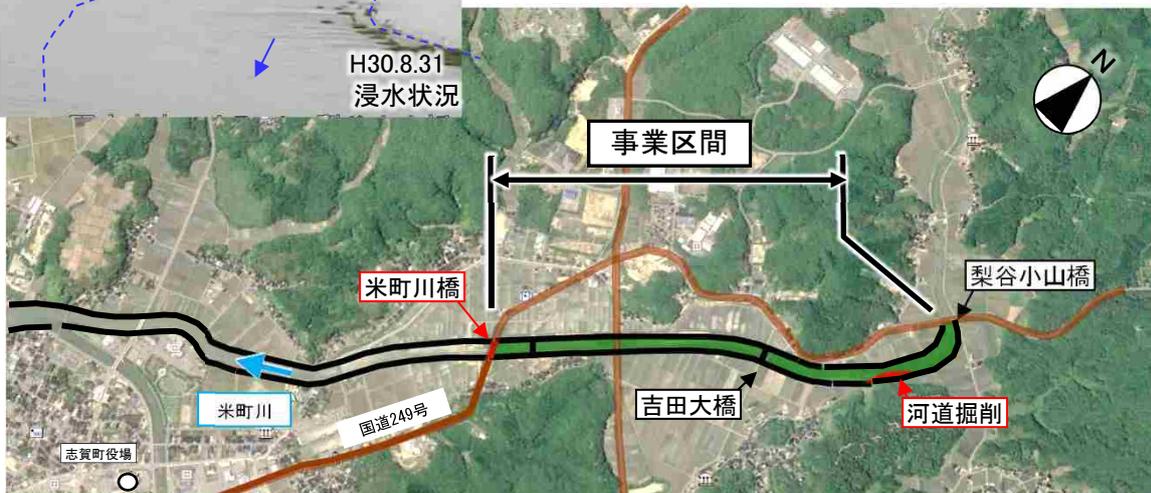
位置図



はくい しまち しみず いまえ
羽咋郡志賀町清水今江地内ほか



H30.8.31
浸水状況



ひがしやまなか
東山中大規模特定砂防等事業の推進
いしかわ すず
石川県珠洲市

R2事業費
60百万円

事業の概要

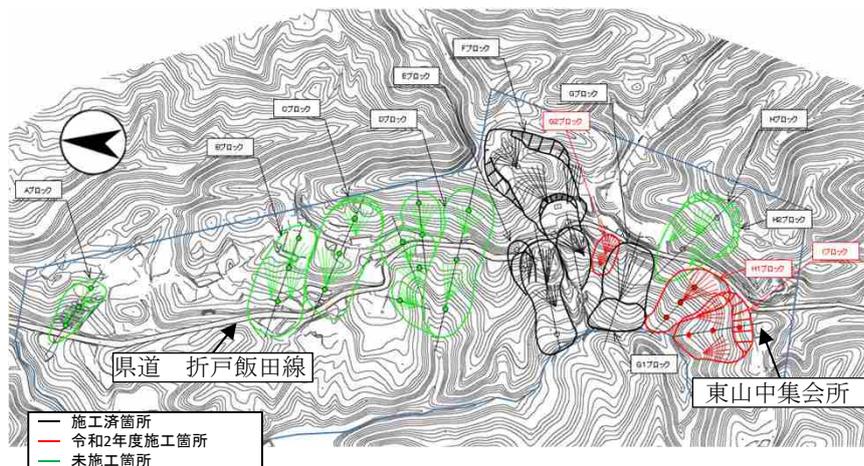
ひがしやまなか
東山中地区では平成20年に、緊急輸送道路である県道折戸飯田線及び人家基礎部に亀裂が発生するといった地すべりの兆候が確認されています。地すべりの発生に伴い県道が寸断された場合、地域住民の安全確保が困難となります。地すべり防止施設を集中的に整備することで、早期に地域の安全度の向上を図ります。

整備効果

地すべり防止施設を整備し、地すべりの安定化を図ることにより、保全対象であるひがしやまなか
東山中地区の人家、県道等を保全します。

令和2年度の事業内容

地すべり観測、横ボーリング工を実施します。



県道折戸飯田線 被害状況



保全対象（東山中集会所）

[無電柱化推進計画事業]

かなざわ

金沢市無電柱化推進計画事業の推進

いしかわ かなざわ
石川県金沢市

R2事業費
1,290百万円

事業の概要

(代表事例)

市道 ^{ひがしやま} 東山1丁目線9号ほか11路線 (通称: ^{かんのんちよう} 観音町通り) は、観光地であるひがし茶屋街に位置し、^{かなざわ} 金沢市 ^{うたつやま} 卯辰山麓伝統的建造物群保存地区内を通る重要な道路です。

無電柱化を推進することで、良好な景観の形成や観光振興を目的とした事業です。

整備効果

- ・良好な景観の形成
- ・観光振興

令和2年度の事業内容

令和2年度より、新規事業に着手し、管路工事を推進します。



現地状況(観音町通り)

国道8号 小松バイパス事業の推進

能美市小杉町～小松市千代町間の4車線化開通

石川県能美市・小松市・加賀市

R2事業費
600百万円

事業の概要

小松バイパスは、国道8号の交通量増加への対応、交通渋滞解消、交通事故の削減を図るとともに、金沢バイパス、金沢西バイパス並びに主要地方道金沢小松線（加賀産業開発道路）と接続する事により、主要幹線道路のネットワーク強化を目的とした、能美市大長野町から加賀市箱宮町に至る延長約15.6kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・円滑な走行環境確保による交通混雑の緩和
- ・交通ネットワークを強化し、物流の円滑化を図ることによる地域産業の活性化支援

令和2年度の事業内容

現在、能美市小杉町（小杉IC）～小松市千代町（千代能美IC）間の令和2年内の開通に向け、舗装工事を推進しています。

令和2年度は、引き続き、令和2年内の開通に向けて能美市小杉町（小杉IC）～小松市千代町（千代能美IC）間の舗装工事を推進するとともに、小松市千代町（千代能美IC）～小松市八幡（八幡IC）間の橋梁下部工などを推進します。



▲ 舗装工事実施状況



かけはしがわ

さと

かけはしがわ

梯川 水の郷こまつ 梯川治水対策 の推進

いしかわ こまつ
石川県小松市

R2事業費

2,629百万円※1

※1: 梯川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

梯川では近年出水が頻発し、特に平成29年に氾濫危険水位を2回超過、平成30年も避難判断水位を超過し、避難勧告が発令されるなど水害のリスクが高い河川であります。近年の出水状況を踏まえ、平成30年度より洪水時の水位上昇が特に著しい白江大橋（河口より6km）から荒木田大橋（河口より9km）までの一連区間について「水の郷こまつ 梯川治水対策」として重点的に河川改修を進めています。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」（※2）の「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、引き続き堤防整備等を実施します。

整備効果

堤防整備及び能美大橋の架替えの推進により、梯川の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

白江町地区の橋梁架替の推進及び、佐々木地区の堤防整備等を推進します。



※2: 「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

石川海岸 侵食・越波対策の整備の推進（小松工区）

いしかわ こまつ
石川県小松市

こまつ
R2事業費
933百万円※

※：石川海岸直轄海岸保全施設整備事業のR2全体事業費

事業の概要

いしかわ こまつ
石川海岸小松工区は侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展が著しく、高波による越波被害が発生すれば地域経済や雇用に大きな影響を与える恐れがあります。

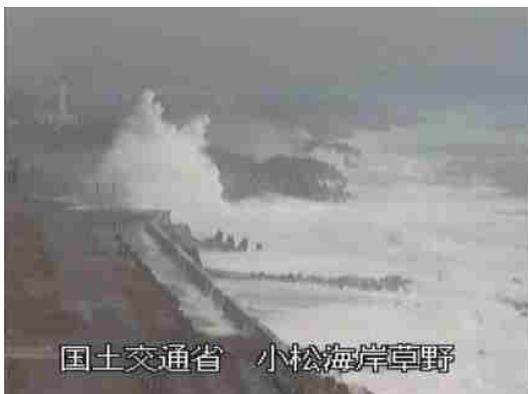
このため、平成16年度から直轄海岸保全施設整備事業に着手し、抜本的な保全対策を推進しています。

整備効果

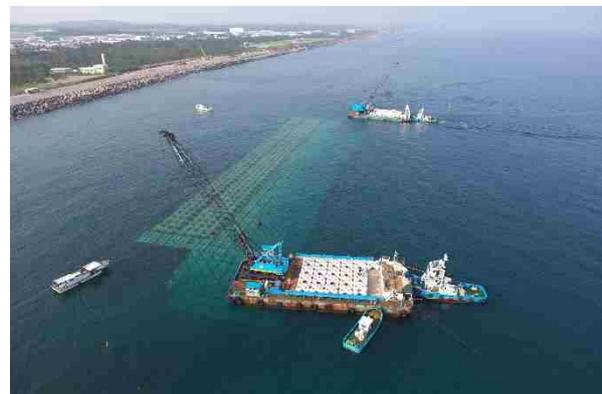
海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

令和2年度の事業内容

こまつ こまつ
小松市小松工区において、人工リーフ等の整備を推進します。



冬季風浪状況(小松工区:平成27年12月)



人工リーフの施工状況(小松工区:平成25年8月)

てどりがわ
手取川水系直轄砂防事業の推進
 いしかわ ほうさん やなぎだに
石川県白山市（柳谷中流砂防堰堤群）

R2事業費
 278百万円

事業の概要

てどりがわ うしくびがわ
 手取川水系の牛首川上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。実際に、うしくびがわ やなぎだに
 牛首川上流域の柳谷では平成11年、そして別当谷では平成16年に、それぞれ大規模な土石流が発生し、登山道の吊橋が流失するなどの被害が発生しています。このため、やなぎだに
 柳谷中流砂防堰堤群では、荒廃が著しい牛首川上流の柳谷中流域に、計4基からなる砂防堰堤群を整備することで、土石流の原因にもなり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止し、年間約5万人が訪れる、ほうさん
 白山市に於ける登山と観光の要所となっている登山道等を保全するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、うしくびがわ
 牛首川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、登山や観光面での安全性が高まるだけでなく、ほうさん
 白山市を始めとした保全対象の安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

しらみね
 白峰地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



じんのすけだに
甚之助谷地区直轄地すべり対策事業の推進
 いしかわ はくさん
石川県白山市

R2事業費
 890百万円

事業の概要

甚之助谷地区地すべりは、手取川水系牛首川の最上流部に座する白山の西側斜面に位置し、全国でも例が少ない高山地帯に存在する大規模な地すべりであり、現在も年間10cmを超える活発な地すべり活動が継続しています。

昭和9年7月に発生した手取川大水害では、甚之助谷に隣接する別当谷で発生した地すべり由来の崩壊土砂が原因で河道が閉塞し、これが決壊してしまったことにより、下流域の沿川一帯で多数の死者・行方不明者が発生しました。

このような大災害の発生を防止するため、甚之助谷地区直轄地すべり対策事業では、集水井や排水トンネル等の各種地すべり対策工事の計画的な実施により地すべり活動を沈静化させることで、地すべりに起因する大規模な土砂流出を抑制します。

整備効果

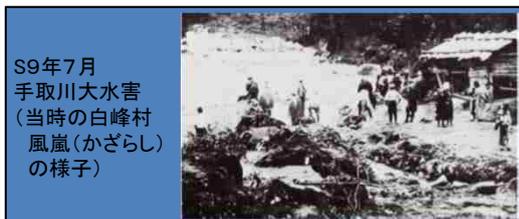
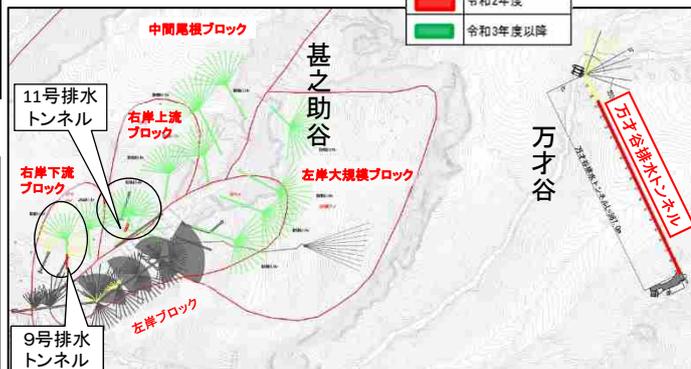
地すべり対策工の整備により、手取川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、白山市を始めとした下流域の沿川に在る保全対象の安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

白峰地区において、地すべり対策工の整備を推進します。



凡例	
黒	平成30年度以前
黄	平成31年度
赤	令和2年度
緑	令和3年度以降



国道159号 金沢東部環状道路事業の推進

石川県金沢市

R2事業費
1,950百万円

事業の概要

金沢東部環状道路は、金沢中心部における交通渋滞の緩和を図るとともに、北陸自動車道や、のさと里山海道とあわせた広域的な道路ネットワークの形成を目的とした、金沢市今町から同市鈴見台に至る延長約9.4kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・ 金沢中心部の交通渋滞の緩和
- ・ 広域的な道路ネットワークの形成

令和2年度の事業内容

現在、金沢市月浦町から神谷内町間では、4車線化に向けた月浦トンネル工事を推進しています。月浦トンネルは、約8割（約800m/1,020m）まで掘削が進んでいますが、軟弱な地山であることから慎重に工事を進めています。（令和2年3月末時点）

令和2年度は、引き続き改良工事、月浦トンネル工事を推進するとともに、金沢市梅田町～同市月浦町間において、埋蔵文化財調査を推進します。



▲ 月浦トンネル施工状況



国道470号 輪島道路事業の推進

わ じ ま
い し か わ わ じ ま
石 川 県 輪 島 市

R2事業費
1,500百万円

事業の概要

「能越自動車道」輪島道路は、災害時の緊急輸送路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第3次医療施設へのアクセス性の向上を目的とした、輪島市三井町本江から同市洲衛に至る延長約4.7kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・高規格幹線道路網の形成、災害に強いネットワークの形成
- ・第3次医療施設へのアクセス向上
- ・アクセス時間の短縮による地域の発展・観光の活性化

令和2年度の事業内容

現在、輪島道路は令和4年夏迄の開通に向け、改良工事及び（仮称）洲衛高架橋上部工事を推進しています。

令和2年度は、改良工事を実施するとともに、（仮称）洲衛高架橋上部工事を推進し、令和4年夏までの開通に向けて着実に事業を推進します。



かなざわ おおの
金沢港 大野地区
国際物流ターミナル整備事業の推進
いしかわ かなざわ
石川県金沢市

R2事業費
100百万円

事業の概要

かなざわ かなざわ かが
金沢港は、金沢市をはじめとする加賀地方の経済・産業を支える海上輸送拠点となっています。船舶の大型化に対応し、物流ターミナル機能を強化するため、航路の整備を推進しています。

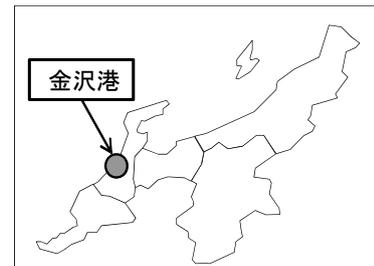
整備効果

国際物流ターミナルの整備に伴い大型船の入港が可能となり、物流の効率化によるコスト縮減が図られます。

令和2年度の事業内容

航路の整備事業を推進します。

【位置図】



かなざわ おおの
金沢港 大野地区
防波堤改良事業の推進
いしかわ かなざわ
石川県金沢市

R2事業費
1,000百万円

事業の概要

かなざわ かなざわ かが
金沢港は、金沢市をはじめとする加賀地方の経済・産業を支える海上輸送拠点となっています。
港内の航行船舶の安全性、利便性の確保、および防波堤の安定性を確保するため、防波堤の改良を推進しています。

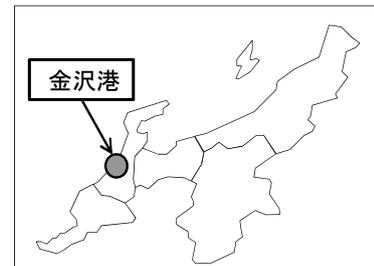
整備効果

防波堤の改良により、港内の航行船舶の安全性、利便性が確保されます。

令和2年度の事業内容

防波堤の改良を推進します。

【位置図】



ななお おおた
七尾港 大田地区
国際物流ターミナル整備事業の推進
いしかわ ななお
石川県七尾市

R2事業費
120百万円

事業の概要

七尾港は背後に地域の主要産業である木材加工産業が集積しており、原材料である原木の供給拠点となっています。

木材運搬船の大型化への対応のため、大田地区の国際物流ターミナルの整備を推進します。

整備効果

貨物の取扱能力が向上し輸送コストの縮減が図られます。

令和2年度の事業内容

航路、泊地の整備を推進します。

【位置図】



わじま わじまざき
輪島港 輪島崎地区
避難港整備事業の推進
いしかわ わじま
石川県輪島市

R2事業費
273百万円

事業の概要

のと
能登半島沖を航行する船舶が荒天時に安全に避難・避泊できる水域を確保するため、防波堤の整備を推進しています。

整備効果

せいおんど
港内の静穏度が向上し、荒天時には船舶が安全に避難・避泊できるようになります。

令和2年度の事業内容

防波堤の整備を推進します。

【位置図】



こまつ 小松飛行場 エプロン（駐機場） 新設事業の推進

いしかわ こまつ
石川県小松市

R2事業費
530百万円

事業の概要

航空機の受入体制強化のため、大型機対応の貨物用エプロン（駐機場）1スポットを整備します。

整備効果

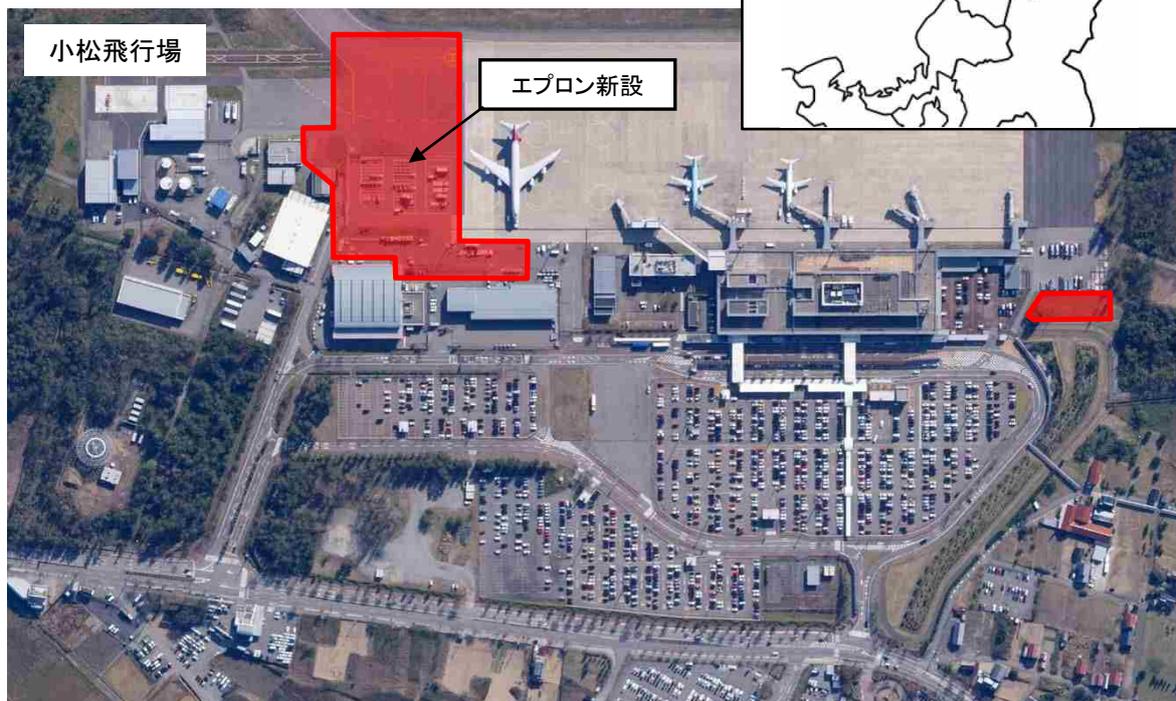
エプロンを増設することにより、国際貨物便の需要への対応等が可能となります。

令和2年度の事業内容

エプロンの整備を推進します。

【位置図】

小松飛行場



いぶりはしがわ

動橋川

事業間連携河川事業の推進

いしかわ かが
石川県加賀市

R2事業費
320百万円

事業の概要

いぶりはしがわ かが
動橋川は、加賀市の人家連担部を貫流し、しばやまがた
いぶりはしまち
動橋町地内で決壊し、甚大な被害が発生しています。

こうした被害を踏まえ、氾濫発生危険性の高い区間等において、洪水対策として、集中的に河道掘削等を推進します。

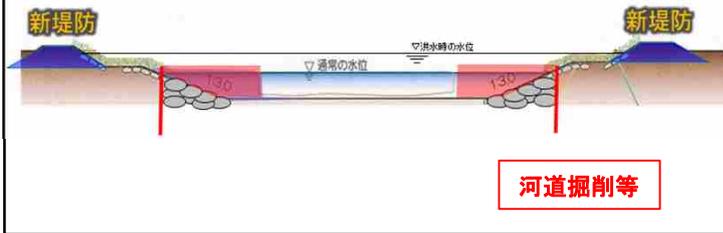
整備効果

いぶりはしがわ
河道掘削等を推進することで、動橋川流域の治水安全度を向上させます。

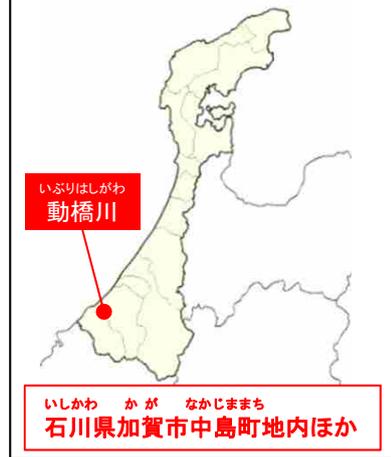
令和2年度の事業内容

かが なかじま
加賀市中島町地内において河道掘削等を推進します。

標準断面図



位置図



かなざわ
[地域高規格道路 金沢外環状道路]

かがつめ もりもと
(一) 蚊爪森本停車場線事業

おお うちら せ ぎ まち
(市) 大浦・千木町線事業の推進

いしかわ かなざわ
石川県金沢市

R2事業費
2,836百万円

事業の概要

かなざわ
金沢外環状道路海側幹線は、山側幹線と一体となって、かなざわ
金沢都市圏の外郭を形成し、交通の円滑化を図る極めて重要な幹線道路です。

かがつめ もりもと おお うちら せ ぎ まち かなざわ
一般県道蚊爪森本停車場線及び市道大浦・千木町線（金沢外環状道路海側幹線IV期）は、海側幹線の一部を構成し、物流の効率化、主要渋滞箇所の解消及び地域間交流の支援を目的とした道路であり、かなざわ おお ぼた まち せ ぎ まち
金沢市大河端町～千木町間2.5kmの事業です。

整備効果

- かなざわ
・重点港湾金沢港へのアクセス向上
- かなざわ
・金沢都市圏の交通渋滞の緩和ならびに交通事故の低減
- かが かなざわ のと
・加賀・金沢・能登を繋ぐ広域交流の基盤を形成

令和2年度の事業内容

かなざわ おお ぼた まち せ ぎ まち
現在、金沢市大河端町から千木町間の延長2.5kmにおいて、全線で改良工事を推進するとともに、全5橋のうち2橋で橋梁下部工事、3橋で橋梁上部工事を推進しています。

令和2年度は、令和4年度中の山側2車線暫定供用を目指して、引き続き改良工事を推進するとともに、2橋の橋梁上部工事に着手し、全5橋で橋梁上部工事を推進します。



あきのがわ
施工状況（浅野川 周辺）

かなざわのと
[地域高規格道路 金沢能登連絡道路]

かなざわ たつるはま やないだ うわだな や だ
(主)金沢田鶴浜線事業(柳田IC～上棚矢駄IC)の推進

いしかわ はくい はくい し かまち
石川県羽咋市・羽咋郡志賀町

R2事業費
1,314百万円

事業の概要

かなざわのと かなざわのと のうえつ
金沢能登連絡道路は、金沢と能登地域の連絡を強化し、能越自動車道と一体となって広域交流の促進を図る極めて重要な幹線道路です。

かなざわ たつるはま やないだ うわだな や だ
主要地方道金沢田鶴浜線の柳田IC～上棚矢駄IC間は、現道の交通混雑の緩和や広域交流の促進を目的として、羽咋市柳田町から志賀町上棚に至る延長約9.6kmの4車線化整備を行う事業です。

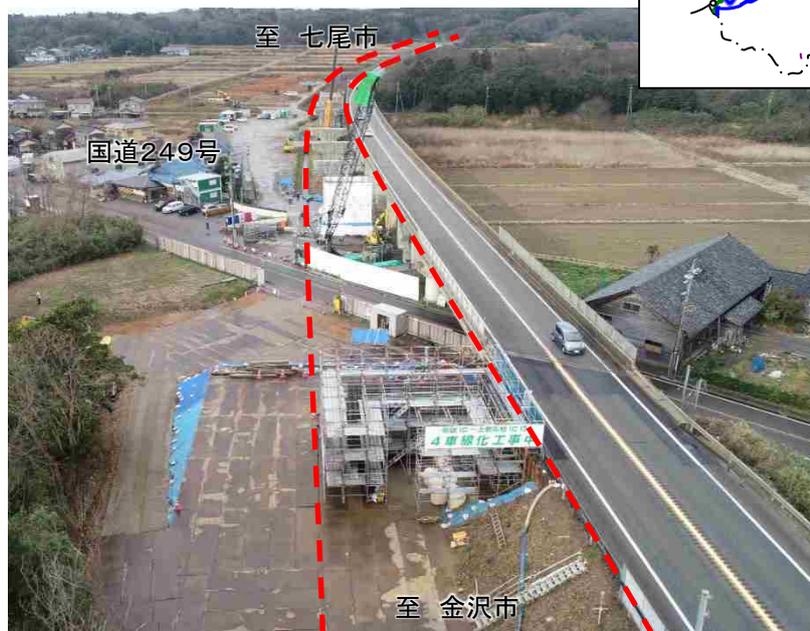
整備効果

- ・交通混雑の緩和
- ・交通事故の減少
- ・広域交流の促進

令和2年度の事業内容

やないだ うわだなやだ
現在、柳田ICから上棚矢駄IC間の延長約9.6kmにおいて、改良工事を推進するとともに全10橋のうち3橋で橋梁下部工事を推進しています。

令和2年度は、引き続き改良工事を推進するとともに1橋で橋梁下部工事、3橋で橋梁上部工事に着手します。



施工状況(国道249号交差部)

[重要物流道路]

かなざわ みかわ こまつ
(主)金沢美川小松線事業の推進

いしかわ はくさん
石川県白山市

R2事業費
250百万円

事業の概要

かなざわ みかわ こまつ かが
主要地方道金沢美川小松線は、加賀海浜産業道路の主路線で重要物流道路に指定されており、物流の効率化や地域間交流の支援を目的とした道路であり、はくさん おがわまち まつもとまち
白山市小川町から松本町に至る延長約1.8kmを整備する事業です。

整備効果

- かなざわ
・重要港湾（金沢港）へのアクセス向上
- ・北陸自動車道へのアクセス向上
- ・広域交流の促進

令和2年度の事業内容

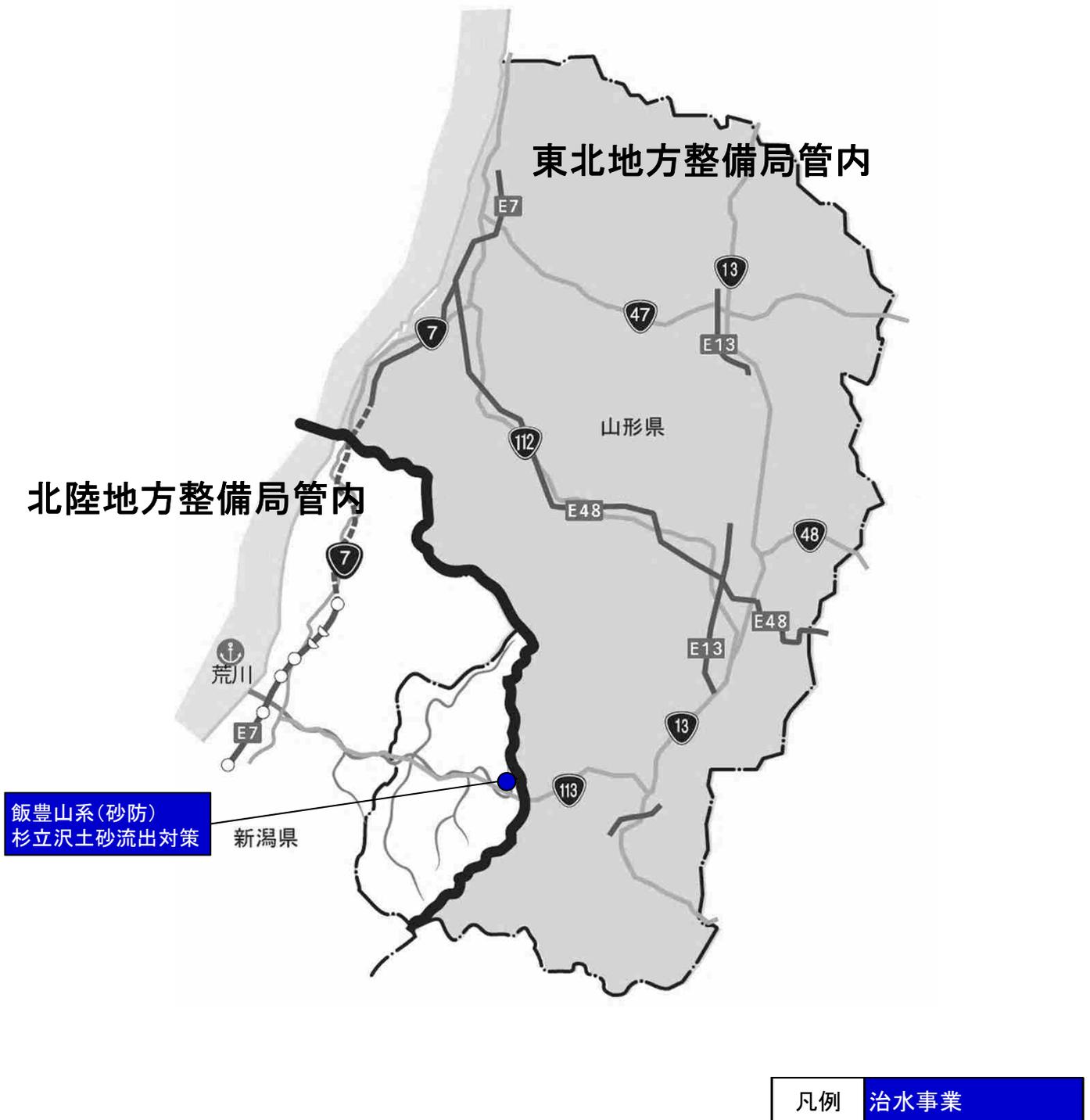
はくさん おがわまち まつもとまち
現在、白山市小川町から松本町間の延長約1.8kmにおいて、調査設計を推進しています。
令和2年度は、用地買収を推進します。

位置図



事業箇所

山形県内の主要事業



飯豊山系直轄砂防事業の推進

山形県西置賜郡小国町（杉立沢土砂流出対策）

R2事業費
227百万円

事業の概要

飯豊山系の荒川流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

この中でも杉立沢では、平成11年に発生した大規模な土砂崩壊によって、河床に不安定な土砂が大量に堆積しているため、これが今後の出水等により流下し、近傍の国道113号を始めとした地域の重要交通網や下流域の沿川市街地が被災してしまうことが懸念されます。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、荒川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、保全対象である山形県並びに下流域に在る新潟県内の沿川市町村における安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

沼沢地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。

流域状況



砂防堰堤の計画箇所



上流の大規模崩壊地



不安定土砂が堆積する河床

福島県内の主要事業



凡例 治水事業

阿賀川 宮古 弱小堤防対策 の完了

あががわ みやこ
ふくしま かわぬま あいづばんげまち
福島県河沼郡会津坂下町

R2事業費
724百万円※1

※1:阿賀川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

阿賀川左岸の会津坂下町宮古地区では堤防の断面が不足しており、洪水時の水位低減、洪水の安全な流下を図るため弱小堤防対策（堤防整備）が必要となっています。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」（※2）の「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、堤防整備（弱小堤防対策）を完了します。

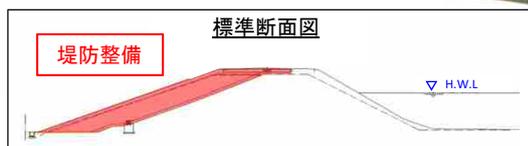
整備効果

堤防整備（弱小堤防対策）の完了により、阿賀川流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

宮古地区の堤防整備（弱小堤防対策）を完了します。

位置図



※2:「水防災意識社会 再構築ビジョン」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

たきさか
滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進
 ふくしま やま にしあいつまち
福島県耶麻郡西会津町

R2事業費
 693百万円

事業の概要 s

滝坂地区地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに存在し、面積約150ha、深さ（高さ）約140mの地すべり土塊を有する国内最大級の地すべりであり、平成8年に直轄地すべり対策事業が開始されるまでは、年間約100cmを超える活発な地すべり活動が発生していました。

万が一、地すべりが活発化し地すべり土塊の活動により阿賀川に河道閉塞が形成されてしまうと、上流の西会津町や喜多方市では湛水による広域的な被害が発生し、下流沿川では河道閉塞の決壊により土砂・洪水氾濫が発生する危険性があります。

このような大災害の発生を防止するため、滝坂地区直轄地すべり対策事業では、集水井や排水トンネル等の各種地すべり対策工事の計画的な実施により地すべり活動を沈静化させることで、地すべりに起因する大規模な土砂流出を抑制します。

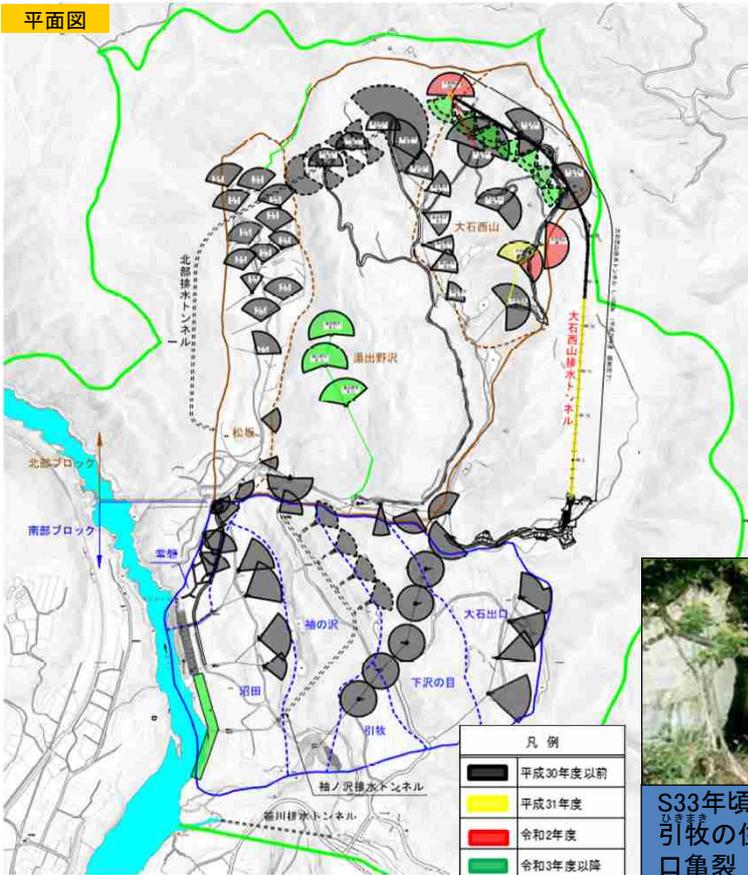
整備効果

地すべり対策工の整備により、阿賀野川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である福島県並びに下流域に在る新潟県内の沿川自治体における安全と安心を確保します。

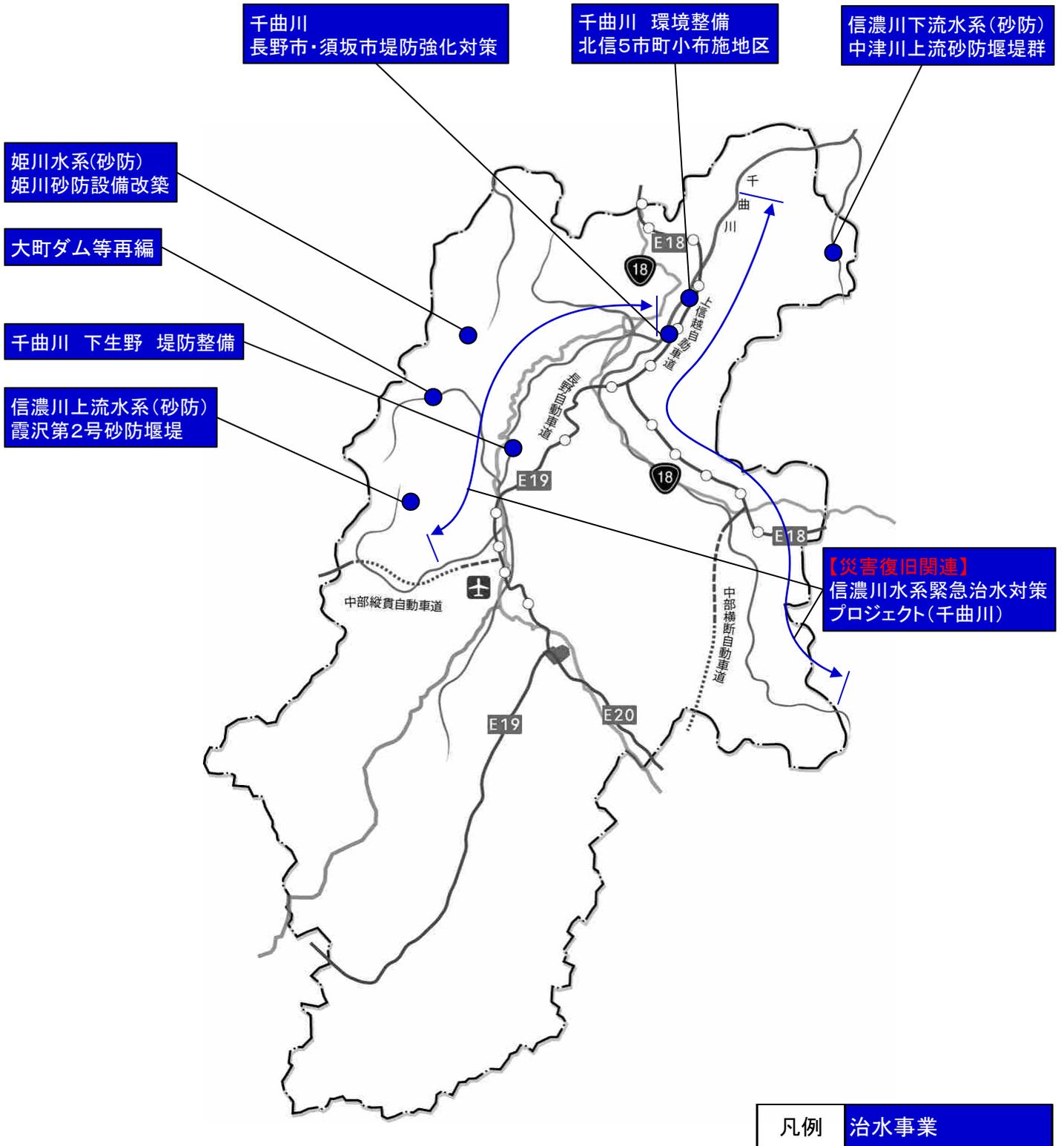
令和2年度の事業内容

豊洲地区において、地すべり対策工の整備を推進します。

平面図



長野県内の主要事業



ちくまがわ しもいくの
千曲川 下生野 堤防整備 の着手
ながの ひがしちくま いくさかむら
長野県東筑摩郡生坂村

R2事業費
1,995百万円※

※:千曲川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

千曲川流域では、平成18年7月洪水において上流ダム群の特例操作により、越水決壊を回避した暫定堤防区間について、洪水の安全な流下を図るため、堤防整備を実施します。

この堤防整備により、平成18年洪水と同等の流量が流下した場合でも越水決壊の発生防止に繋がるものです。

このため、当該区間における堤防整備に着手します。

整備効果

堤防整備の着手することで、千曲川流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

下生野地区の堤防整備に伴う用地取得に着手します。



平成18年7月出水時の状況

おおま
大町ダム等再編事業
 ながの おおま
長野県大町市

R2事業費
 369百万円

事業の概要

本事業は、信濃川水系千曲川の治水対策のため、既設の高瀬ダム・七倉ダム（発電専用ダム）の発電容量の一部と、大町ダム（多目的ダム）の水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保することにより、洪水調節機能を強化するものです。

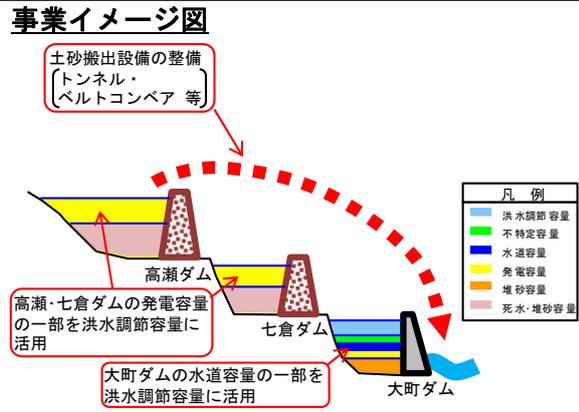
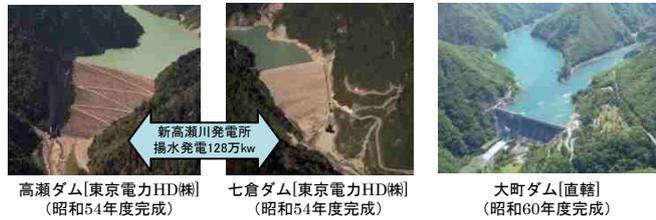
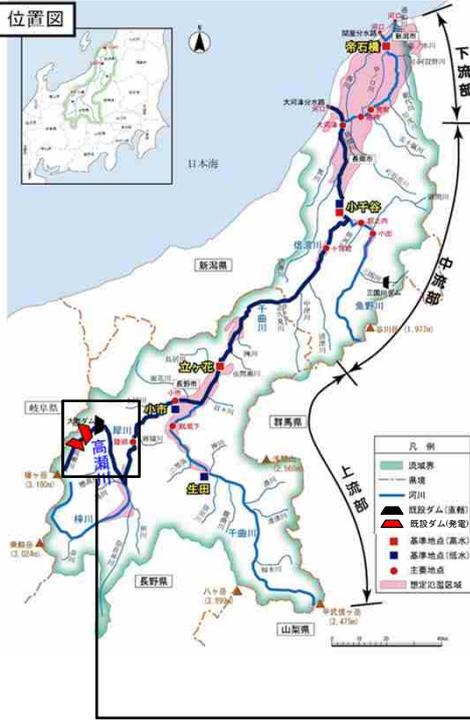
また、長期にわたり安定的にダムの機能が確保されるよう、土砂搬出施設の整備を行います。

平成27年度に実施計画調査に着手し、令和2年度に建設事業に着手します。

- 目的 ・洪水調節（犀川、千曲川、信濃川の洪水防御）
- 概要 ・既設ダムを活かした洪水調節機能の確保
 （既設ダムの容量振り替え、土砂搬出施設の整備）
- 経緯 平成27年度 実施計画調査着手
 令和2年度 建設事業着手

令和2年度の事業内容

土砂搬出施設詳細設計 等を実施する予定です。



ちくまがわ
千曲川 環境整備 水辺整備の推進
ながの かみたかい おぶせまち おぶせ
長野県上高井郡小布施町（小布施地区）

R2事業費
349百万円※

※信濃川総合水系環境整備事業のR2全体事業費

事業の概要

千曲川ちくまがわの下流部は、地域毎に四季折々の素晴らしい河川環境を有しており、千曲川ちくまがわは魅力的な地域資源となっており、各地域では、この千曲川ちくまがわを活かしたカヌーなどの水辺アクティビティイベントや堤防沿いでのマラソン大会が催されています。こうした中、各地域から広域な連携による更なる水辺空間の賑わいが求められています。

本事業は、千曲川北信地区ちくまがわほくしんの5市町が広域に連携した「かわまちづくり計画」が登録されたことを踏まえ、親水護岸や高水敷整正、アクセス道等の水辺整備を行います。

整備効果

千曲川を軸とした広域観光ルートの構築、地域の歴史・文化の伝承、未来へ繋げる関係人口の創出等により、広域観光の推進と地域活性化を目指します。

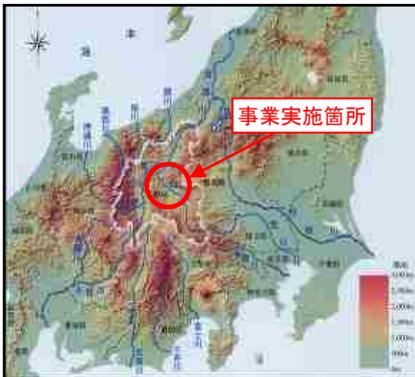
令和2年度の事業内容

千曲川北信5市町ちくまがわほくしんの中間地点の拠点となる小布施町おぶせまちでの水辺整備（親水護岸、高水敷整正等）を推進します。

・ 平面図



・ 位置図



・ ラフティングイベント



・ 堤防天端利用イメージ



・ 利活用イメージ



水辺アクティビティ
小布施町：小布施橋下流水辺整備

しなのがわ
信濃川上流水系直轄砂防事業の推進

ながの まつもと かずみざわ
長野県松本市（霞沢第2号砂防堰堤）

R2事業費
56百万円

事業の概要

しなのがわ あずさがわ
信濃川上流水系の梓川流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生危険性が高まっています。

このため、かすみざわ 霞沢第2号砂防堰堤では、荒廃が著しいあずさがわ かすみざわ 梓川左支川霞沢に砂防堰堤を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

まつもと
砂防堰堤工の整備により、あずさがわ 梓川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、松本市を始めとした保全対象の安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

あづみ さわんど かすみざわ
安曇沢渡地区において、霞沢第2号砂防堰堤を完成させます。



霞沢の全景

【保全対象】
松本市、保全人家、上高地への乗換バス拠点、
国道158号 など



堰堤上流斜面崩壊状況



河床の堆積土砂



S20年10月 土砂・洪水氾濫による家屋(集落)の被災状況

ひめかわ
姫川水系直轄砂防事業の推進
 ながの きたあづみ はくばむら ひめかわ
長野県北安曇郡白馬村（姫川砂防設備改築）

R2事業費
214百万円

事業の概要

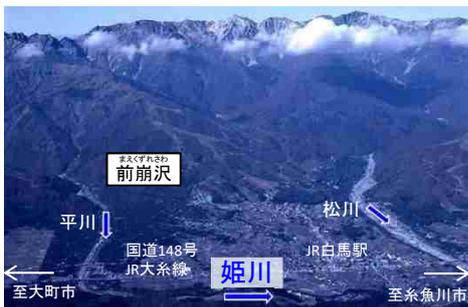
ひめかわ
 姫川水系の上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。
 このため、ひめかわ
 姫川砂防設備改築では、昭和30年から40年代に、ひめかわ
 姫川上流の平川流域に設置した既設砂防設備に対して、砂防堰堤としての機能を維持するだけでなく、効果量を増加させ砂防堰堤本体の機能を向上させる嵩上げも含めた改築工事を実施することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、ひめかわ
 姫川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を維持・向上させ、保全対象であるながの
 長野県並びににいがた
 新潟県内の沿川市町村における安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

ひらかわ
 平川上流域に在るひらかわ
 平川第4号砂防堰堤の改築工事を完了し、ひめかわ
 姫川砂防設備改築を完成させます。



下流の白馬市街地の状況



平川上流域の荒廃状況



経年劣化による既設砂防設備の損傷・劣化状況



平川第4号砂防堰堤

【保全対象】
 白馬村、保全家、国道148号、JR大系線 など

しなのがわ ちくまがわ
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)※1の推進
 R2事業費
 長野県長野市 他 1,838百万円※2

※2: 千曲川の河川等災害復旧費のR2事業費

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

- 以下の3つを柱として取り組んでいきます。
 - ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
 - ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
 - ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和2年度の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの「河川における対策」の内、決壊箇所の本格的な災害復旧を推進します。



※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」
 ▶ 緊急治水対策プロジェクトの内容を更新しました。詳細は下記にてご覧いただけます
http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinanogawakinkyutisuitaisaku/sinanogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

ちくまがわ ながの すざか
千曲川 長野市・須坂市堤防強化対策 の推進
 ながの ながの すざか
長野県長野市、須坂市 R2事業費
 1,995百万円※1

※1：千曲川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

ちくまがわ ながの やしま すざか ふくじま
 千曲川左岸の長野市屋島地区及び右岸の須坂市福島地区の堤防は、高さや断面が不足していると
 ともに、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそ
 れがあります。

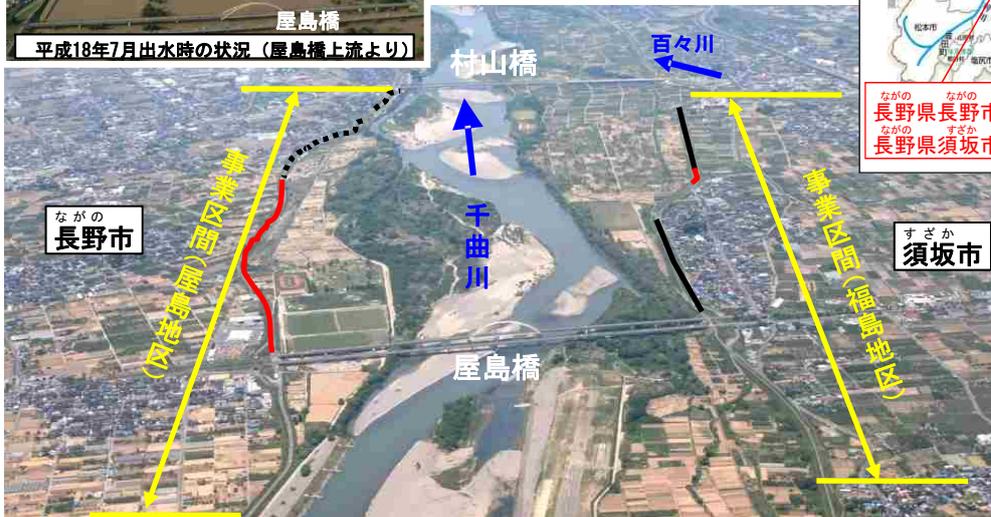
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※2)
 の「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、引き続き屋島地区・福島地区の堤防整備を推進し
 ます。

整備効果

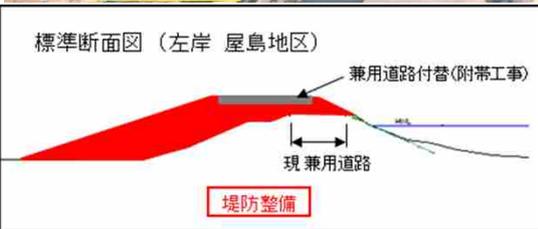
ちくまがわ
 堤防整備の推進により、千曲川流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

屋島地区及び福島地区の堤防整備を推進します。



位置図



※2：「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

しなのがわ
信濃川下流水系直轄砂防事業の推進
 ながの しものち さかえむら なかつがわ
長野県下水内郡栄村（中津川上流砂防堰堤群）

R2事業費
 290百万円

事業の概要

しなのがわ 中津川上流域には、なえぼさん とりかぶとやまの火山噴出物による脆弱な崩壊斜面が多数存在し、絶えず繰り返される浸食崩壊によって河床内に不安定な土砂が大量に堆積しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

このため、中津川上流砂防堰堤群では、荒廃が著しく溪岸浸食が続く中津川の上流本川にて、計2基からなる砂防堰堤群と護岸（溪流保全工）を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、しなのがわ 信濃川下流水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象であるながの 長野県並びに下流域に在る にいがた 新潟県内の沿川市町村における安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

うえのはら 上野原地区等において、砂防堰堤工等の整備を推進します。



中津川上流第1号砂防堰堤(施工中)



苗場山西斜面の大崩壊地



位置図

中津川上流砂防堰堤群



中津川上流第2号砂防堰堤

中津川上流第2号下流護岸
 (溪流保全工)

中津川上流第1号砂防堰堤

栃川

中津川

中津川上流溪流保全工

温泉旅館

栄村立秋山小学校

下流に位置する屋敷集落

【保全対象】

下水内群栄村、津南町、屋敷地区、国道405号、小学校、公園、集落 など



H25年9月 台風18号による出水の状況
 (中津川上流溪流保全工)



中津川上流第2号下流護岸の計画地

岐阜県内の主要事業



じんづうがわ
神通川水系直轄砂防事業の推進
ぎふ たかやま しんほだか
岐阜県高山市（新穂高渓流保全工）

R2事業費
163百万円

事業の概要

じんづうがわ たかはらがわ
神通川水系の高原川流域には、荒廃が著しい渓流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。
このため、新穂高渓流保全工では、不安定な堆積土砂の流出を防止し、河床や溪岸を安定させる床固工や護岸工と併せて、砂防堰堤工の設置も取り入れた一連・一体的な渓流保全工を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂の再流出を抑制します。

整備効果

じんづうがわ
渓流保全工の整備により、神通川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、近傍の保全対象である奥飛騨温泉郷のみならず、とやま 富山県も含めた沿川市町村に於ける安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

おくひ だおんせんごうかんさか しんほだか
奥飛騨温泉郷神坂地区において、新穂高渓流保全工を完成させます。



上流域の荒廃状況と土石流発生履歴



H24年6月 出水状況(右俣谷・左俣谷合流点)

福井県内の主要事業



つるが まりやまみなみ
敦賀港 鞠山南地区
国際物流ターミナル整備事業の推進
ふくい つるが
福井県敦賀市

R2事業費
2,850百万円

事業の概要

つるが ほっかいどうとまこまい ふくおか はかた
敦賀港は北海道苫小牧港や福岡県博多港と日本海側定期航路によって結ばれ、関西中京を背後圏とする物流拠点となっています。

まりやまきた まりやまみなみ
鞠山北地区の非効率な荷役の解消等に対応するため、鞠山南地区の国際物流ターミナルの整備を実施します。

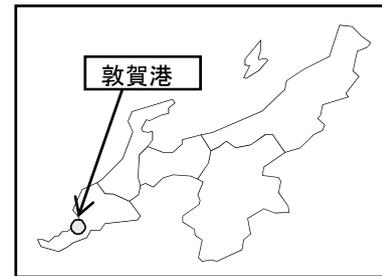
整備効果

貨物の取扱能力が向上し荷役効率化と輸送コストの縮減が図られます。

令和2年度の事業内容

岸壁の整備を推進します。

【位置図】



その他の主要事業

河川管理施設等の老朽化対策の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

河川管理施設の点検を行い、施設の老朽化の進行等により機能が低下した排水機場、水門・樋管等のゲート、監視システム、護岸等の更新・補修等を実施します。

整備効果

既存の施設について元々必要としていた機能が低下し、安全性の確保が難しい箇所について、老朽化対策により従前の機能を回復し、河川の安全性を確保します。

令和2年度の事業内容

河川管理施設の巡視、点検を行うとともに、洪水被害の軽減のため、老朽化等により機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施します。

機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施

 <p>ゲート主ローラの腐食 ゲート扉体部の発錆</p> <p>①水門等の開閉装置の補修・更新</p>	 <p>制御回路等</p> <p>②老朽化した監視システムの更新</p>
 <p>ポンプ分解整備</p> <p>③排水機場のポンプ設備の修繕</p>	 <p>蛇籠鉄線の破断</p> <p>④護岸等修繕</p>

河道、河川管理施設の点検・維持

 <p>点検による状態把握（堤防点検）</p>	 <p>河道（河口部）の維持</p>
--	---

施設点検・巡視のための堤防除草を実施



大型遠隔式除草機械による除草

防災のための重要インフラ等の機能維持

北陸地方整備局管内

事業の概要

平成30年7月豪雨、平成30年台風21号、北海道胆振東部地震等、最近の災害に鑑み実施された「重要インフラ総点検」の結果を踏まえとりまとめられた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の一環として、樹木伐採、土砂掘削等を実施します。

整備効果

樹木伐採、土砂掘削を行うことで近年の主要洪水等に対して氾濫の防止、最小化等を図ります。

令和2年度の事業内容

大規模な浸水による被害の防止、最小化等のため、河道内の樹木伐採、土砂掘削を実施します。

(土砂掘削のイメージ)



(樹木伐採のイメージ)



河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)として、氾濫による危険性の高い等の区間において樹木伐採・土砂掘削を行い氾濫の危険性を概ね解消

※：「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策

北陸地方整備局管内

事業の概要

近年、頻発する激甚な災害を踏まえ、災害で明らかとなった課題に対応するため、特に緊急に実施すべき対策を推進します。

令和2年度の事業内容

法面・盛土対策



法面の岩塊状況



(対策イメージ：ロープネット工)

冠水対策



冠水発生状況



(対策イメージ：側溝更新)

豪雪対策



車両滞留の発生状況



(対策イメージ：待避場所整備)

道路の老朽化対策、防災・震災対策等の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

・道路の老朽化対策

橋梁・トンネル等の道路構造物について、適切に点検・修繕等を実施するメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の推進に取り組みます。

・道路の防災・震災対策等

大規模災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化を推進します。

令和2年度の事業内容

道路の老朽化対策

<橋梁>



（点検）



（鋼部材の塗装劣化）



（対策イメージ：塗装塗替）

<トンネル>



（点検）



（覆エコンクリートのひび割れ）



（対策イメージ：
断面修復・漏水対策）

道路の防災・震災対策等

<耐震補強>



（落橋防止対策）

<防雪対策>



（地吹雪防止対策）

道路利用者目線によるピンポイント渋滞対策

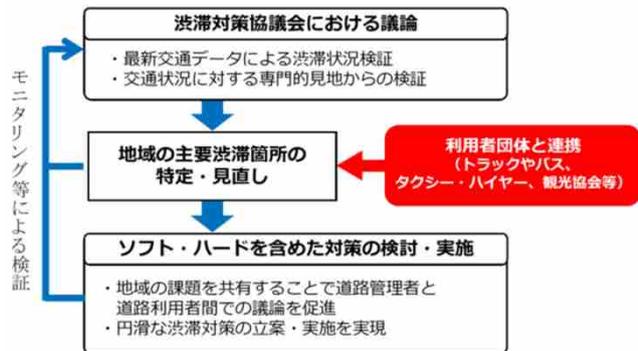
北陸地方整備局管内

事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



令和2年度の事業内容

国道8号
須頃(三)南交差点付近 (新潟県 三条市)



<<付加車線の設置を予定 >>

国道159号
金沢森本IC口交差点 (石川県 金沢市)



<<停止線前出し(コンパクト化)を予定>>

国道41号
掛尾町交差点 (富山県 富山市)



<<右折レーンの延伸を予定 >>

令和2年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

富山県

富山外郭環状道路 なかじま ほんごう 中島～本郷

国道17号の湯沢地区ゆざわなどの災害に対する脆弱区間については、防災機能の向上や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。

国道8号など三条地区さんじょうの慢性的な渋滞対策については、交通円滑化や事故低減など、幹線道路の機能強化等に係る調査を関係機関と連携し実施します。

富山県西部地区せいぶ及び石川県中能登地区なかのとについて、国道160号の災害等に対する脆弱区間を踏まえ、規格の高い能越自動車道のうえつやのと里山海道さとやまかいどう、それを補完する道路の機能強化に向けた調査を石川県・富山県・地元自治体と連携し進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>

